

# 官家主义:中国历史模型及其推演

## (官家主義:中国歴史モデルとその推移)

吴思, 2021 年 11 月

——在中国,关于中国历史,有两种流行的话语体系及其叙事方式。一种是官方的,依据唯物史观,在马列主义话语体系里,讲述我们从哪里来,我们是谁,我们往哪里去。另外一种

是西方的自由主义话语体系,讲述中国从哪里来,中国是谁,中国往哪里去。  
——我今天想介绍这两种体系之外的看法,中国民间的看法,我自己关于中国历史的看法。依据我所谓的血酬史观,讲述我们从哪里来,往哪里去,我们目前到底是谁的故事。

中国の歴史に関する2つのナラティブ

1) 政府公式見解 史的唯物論とマルクス・レーニン主義

2) 西洋のリベラルな見解

今回の内容はこの2つのナラティブとは違う個人的見解

——血酬就是暴力要素的回报,好比地租是土地要素的回报,工资是劳动要素的回报。在暴力要素与各种生产要素的关系中,暴力要素拥有否决权,选择并建构自身利益最大化的制度。依据血酬史观,考察中国历史上的十几个朝代的兴亡,我建立了一个官家主义模型。这个模型,按照中国传统的官民分类,描述官家主义的基本结构,平均寿命和三大死因。

家賃が土地の見返りであり、賃金が労働の見返りであるように、血の報酬は暴力の見返り  
暴力的要素と生産要素との関係で暴力的要素は拒否権を有し、自らの利益を最大化するシステムを選択構築する権利を持っている。

歴史王朝の興亡から「官家主義」というモデルを確立

中国の伝統的な分類から官家主義の基本構造、平均寿命・3つの主な滅亡要因を説明

——介绍完官家主义模型之后,我用这个模型的核心结构对比当代中国,讨论当代中国面对的危机,未来可能的出路。

官家主義モデルから現代中国が直面している危機及び将来の可能性を議論。

诸位不妨把我的见解看作来自中国民间的自我认识和自我反省的一个样本。在官方和西方的主流话语体系之外,中国民间的见解多种多样,我的观点只是其中之一。

見解は、中国の民間における自己認識と自己反省の一つであり、  
あくまで諸説がある中で個人的意見にすぎない。

## 一、官家主义兴亡模型

### 官家主義の興亡モデル

#### 1. 什么是官家主义(官家主義とは)

官家主义是我对秦汉以来中国社会性质的命名。

根据中国十几个朝代的共同点和兴衰变化,我做了一个官家主义模型。其基本结构如图:

「官家主義」とは秦、漢の時代から続く中国の社会性についてネーミングしたもの。

十数の中国王朝の共通点や興亡変遷から「官家主義」をモデル化した基本構図は以下の通り。



这个官/民结构, 来自中国古人常用的社会分类。关于官民的定义, 也采用了古汉语的定义。  
官・民の構造は、中国古来の人々が使って来た社会分類で、官・民の定義も古代中国語の定義

(1) 官家释义: 在古汉语中, 包含三个主体: 皇帝、衙门、官员代理人。

「官家」の解釈 : 古代中国語では「皇帝」、「役所」、「役人代理人」の3つの Entity を含む

(2) 民在中国传统中的分类: 士农工商。

「民」の中国の伝統的分類は士・農・工・商

(3) 主义释义: 特定的社会制度, 即某某主导的规则体系。

「主義」とは: 特定の社会システム、すなわち誰々が主導するルール体系。

在这个结构中、主导并确认规则的, 始终是这个官家集团。所以叫官家主义。  
この基本構造の中でイニシアチブを執り、ルールを確定するのが「官家集団」、  
よってこれを「官家主義」と呼ぶ。

(1) 皇帝主导: 立王法

皇帝が主導する場合は「王法」を制定

(2) 衙门主导: 立部门法规和地方法规(部门利益法制化)

役所が主導するのは各部門の法規や地方法規(部門利益の法制化)。

(3) 官员个人主导: 作为皇帝的代理人, 建立潜规则(官员利益潜规则化)

役人個人が主導するのは皇帝の代理人として役人の利益の暗黙ルール化

2. 官家主义来自与对诸多既有概念的不满

官家主義は多くの既成概念の不满から起きる

这个新概念来自对当代官方概念的不满, 也来自对西方“东方专制主义”之类的概念的不满。  
西方概念后边还要提到, 这里先说中国的官方教科书上的概念。

この新しい概念は、現代の公式概念や西側の「東方的専制主義」などの概念への不满から生まれたもの。  
西側の概念は後述するが、まず、中国の公式のテキスト上のコンセプトについて説明。

中国的官方教科书上的概念: 封建主义。

中国の公式テキストの概念: 封建主義

但是历代公认:秦始皇废封建立郡县。如果把封建制度比喻为商会制度,众多小老板公推一个会长,那么,秦朝的郡县制就是独家垄断公司,一个暴力垄断的大公司吞并了所有小公司。歴代の公式認識は、秦の始皇帝が封建制度を廃し、郡県制度を樹立したとする。

封建制度は例えて言えば、商工会議所のようなもので多くのオーナーがひとりの会長を推す。

秦の郡県制度は一社独占の企業で暴力的独占大企業が小企業を呑み込むようなパターン

为了区分开郡县制和封建制,又不好把秦制称为地方政府说了算的郡县主义,我就杜撰了“官家主义”。

そこで郡県制度と封建制度と区別するため、また秦の制度は地方自治体が最終決定権を持つ郡県主義とは異なることから「官家主義」という言葉を選んだ。

官家主义如同垄断公司,所有权大一统,占有权和使用权与所有权分开,掌握在代理人手里。标准的封建制如同商会,所有权和实际占有权或控制权基本统一。

「官家主義」とは、独占企業のようなもので、所有権は(中央)に統合され、占有権と使用権は所有権から分離され、代理人が掌握する。

標準的な封建制度は商工会議所のようなもので所有権と実際の占有権、管理権は基本的に一致する。

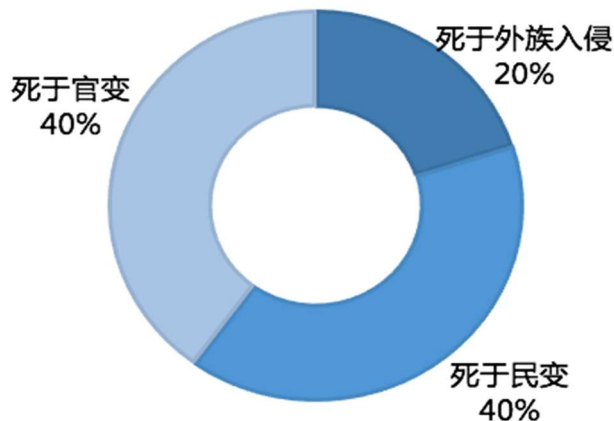
### 3. 政体的寿命和死因(政体の寿命と滅亡要因)

根据中国历史上十几个王朝的兴亡,我们可以发现一些共同点:

中国の歴史における十数代の王朝の興亡にはいくつかの共通点が見られる。

- (1) 官家主义政体的一统王朝,平均寿命在160年左右。  
官家主義を政体とする統一王朝で平均寿命は約160年
- (2) 政体的三种死因(政体の3つの滅亡要因)

#### 官家主义的终结类型及其比例



政体第一死因:死于民变。

比例约40%多。如陈胜吴广,朱元璋李自成。

民变条件:造反收益>造反成本。如此形成连锁反应。

第一の滅亡要因:民のクーデター

比率は40%以上。例:(秦の)陳勝・呉広の乱、(明の)朱元璋、李自成など。

条件:反乱の収益>反乱のコスト。連鎖反応を生む。

政体第二死因:官变。

比例和民变差不多, 40%左右。如王莽篡汉, 曹操篡汉, 赵匡胤黄袍加身, 袁世凯逼清帝退位

官变条件: 背叛收益 > 背叛成本。如此形成连锁反应。

第2の滅亡要因: 官のクーデター

比率は民の反乱とほぼ同じ 40%前後。

例: 王莽の漢篡奪、曹操の漢篡奪、趙匡胤の皇帝服奪取、袁世凱の清皇帝退位要求

条件: 離反の収益 > 離反のコスト。連鎖反応を生む。

政体第三死因: 外敌入侵。

比例在 10-20%。如元灭南宋, 满清入主中原。

外变条件: 入侵收益 > 入侵成本。王朝规模越大, 死于外敌入侵的概率越低。

第3の滅亡要因: 外敵の侵入

比率 10~20%

例: 元が南宋を滅亡、満清が中原に侵入。

条件: 侵略収益 > 侵略コスト。王朝が大きければ外敵侵入の確率は下がる。

- (3) 三种死因往往交织在一起, 分类的根据是主导因素。但是, 不同死因相互支持。例如民变可能引发官变, 民变和官变可能引发外敌入侵。

3つの滅亡要因はしばしば交錯する。誰が主導権を持つかだが異なる要因が互いに絡み合う。たとえば、民の反乱が官の離反を引き起こすこともあるし民の反乱、官の離反が外敵侵入を誘発することもある。

- (4) 在这些死因之下, 还有人与自然的关系问题。例如气候变化, 人口过剩, 饥荒瘟疫。看竺可桢先生给出的五千年中国气温变动曲线, 气温的低点往往就是游牧民族的入侵点。

ほかにも、気候変動、人口過剰、飢饉疫病など人と自然も関係する。

竺可桢氏による中国 5000 年の気温変動曲線から気温の低下がよく遊牧民の侵略時期と重なることがわかる。

#### 4. 死因交错(滅亡要因の交错)

- (1) 通常, 前朝的死因, 不会成为本朝的死因。因为建国者要汲取前朝失败的教训。如秦朝官逼民反, 汉代就轻徭薄赋。魏晋门阀世族架空皇帝, 隋唐就尝试科举取士, 削弱贵族。唐朝藩镇割据, 宋代就强干弱枝, 严控军队。

一般的に、現王朝の創設者は前王朝失敗の教訓を学ぼうとし、前王朝の滅亡要因が現王朝の滅亡要因になることはない。

例えば、秦の民への圧迫が民の反乱を招いた為、次の漢は賦課金や税を軽減した。

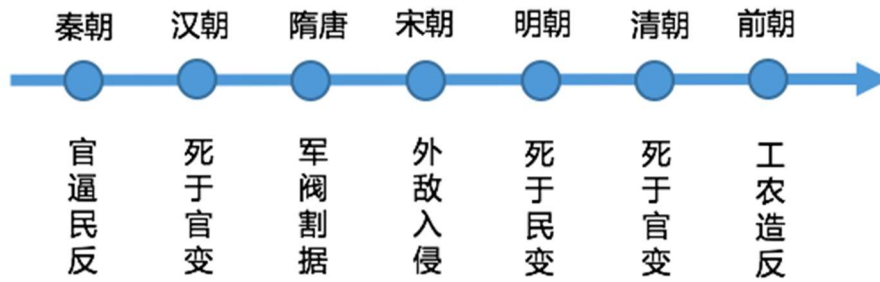
魏・晋は貴族が皇帝を有名無実化した為、隋・唐は科举制度を導入して逆に貴族を弱体化させた。唐では節度使が割拠した為、宋王朝は主力軍を強化、軍を厳しくコントロールした。

- (2) 共产党的前朝是大陆的国民党政权, 被共产党领导的农民造反所推翻。因此, 本朝熟悉各种民间的对抗策略, 对异己力量严防死守, 露头就打。对农民则多有优惠, 取消

农业税费, 扶贫, 建立社保体系等等。生怕重蹈国民党的覆辙。

共産党の前は、大陸では国民党の政権であったが、共産党主導の農民の反乱によって打倒された。したがって今の政権は、さまざまな民間の反抗策略を熟知、反体制勢力には厳しく、その反動の芽が出るやすぐに抑える。国民党の過ちを繰り返さないよう、農業税や農業賦課金の廃止、貧困層の援助、社会保障制度の確立などで農民に多くの優遇措置が講じている。

## 中国历朝历代的终结原因



## 二、官家主义的由来

### 官家主義の由来

如果把唯物史观也看作一个模型, 那么, 官家主义模型与唯物史观模型的重大区别, 就是引进了暴力要素和暴力集团, 并据此定义和划分阶级。

史的唯物論もひとつのモデルと見るなら、官家主義が史的唯物論の大きな異なる点は、暴力的要素と暴力的集団を用いることにあり、この定義に基づいて階級分けを行う。

官家主义是怎么来的? 从秦汉到明清, 所有王朝, 都是通过武力打天下建立的。

官家主義はどこから来たのか?

秦・漢から明・清まですべての王朝は武力で天下を打ち立てた。

一个暴力团伙, 打天下坐江山之后, 论功行赏, 封王封侯, 然后, 皇帝通常让那些跟他一起打天下的将领退居二线当股东。这些将领擅长打仗, 敢造反, 却不擅长断案征税、处理公文。于是我们就看到了杯酒释兵权, 狡兔死走狗烹, 科举考试这一系列历史故事。这就好比皇帝当了董事长, 创业股东退出管理, 聘用许多有 MBA 资格的代理人管理公司。官家主义就是这么来的。

暴力集団は、天下を取って政権を樹立した後、論功を与え、王侯を封じて後、皇帝は通常、共に戦った将軍たちを引退させ、株主のように第二線に退ける。将軍たちは、戦いや反乱は得意だが、裁定、徴税、公文書の取扱などは不得意である。歴史から多くの軍の功労者が消えていくのを我々は知っている。あたかも皇帝が董事長となり、起業した株主は経営から引退し、MBA 資格を持つ多くのエリートを招聘し会社を管理しているようなもの。官家主義とはこのように生まれた。

官家集团掌握的核心资源就是暴力资源, 是暴力要素, 而不是生产要素。官家集团主要凭借暴力资源控制并分配生产要素及其它资源, 立法定规, 维持秩序。

官家集团が掌握する核心的リソースは暴力; 生産要素ではなく、暴力要素である。

暴力によって生産要素のその他のリソースを支配、シェアし、立法で秩序の維持を行う。

这个社会集团是一个阶级吗？从亚当·斯密到马克思列宁，阶级都是根据生产要素定义的。拥有资本要素的是资产阶级，拥有土地要素的是地主阶级，拥有劳动要素的是无产阶级。那么，拥有暴力要素的是不是一个阶级？如果我们扩展阶级的定义，把重要生存资源的拥有者定义为一个阶级，打天下坐江山的官家集团就可以视为一个阶级。

この社会集団はひとつの階級なのか？

アダム・スミスからマルクス・レーニンまで、階級は生産要素で定義されている。

資本的要素を持つ者はブルジョアジー、土地的要素をもつ者は地主階級、労働的要素を持つ者はプロレタリアである。では、暴力的要素を持つ者はひとつの階級ではないのか？

階級の定義を拡張し、重要なサバイバルリソースの所有者をひとつの階級として定義するならば、天下を取って政権を樹立した官家集団は、一つの階級と見なすことができる。

这种历史观，不同于经济决定论的唯物史观，把暴力要素看作历史演化中的具有否决权的主导因素。这就是支持官家主义理论的历史哲学。

この史観は、経済が決定する唯物史観と異なり、暴力的要素を歴史的進化における否决権を備えたイニシアチブ的要素とみなされる。これが官家主義理論を支える歴史哲学である。

### 三、官家主义的世界史地位：中央集权专制主义之东亚特型

#### 官家主義の世界史における位置づけ：中央集権専制主義の東アジア的特徴

##### 1, 从西到东的三大特型（西側から東側までの3つのタイプ）

欧亚大陆上普遍出现的中央集权专制主义，虽然都具备中央集权专制的核心特征或共性，例如拥有强大的常备军和官僚代理人系统，但仍有一些次级差异，例如与常备军并存的私人武装或官僚代理人的来源。

依据这些差异，中央集权专制体制可以分出三大特型。绝对主义，东方专制主义，官家主义。绝对主义有四个半搞不定。东方专制主义有三个搞不定。官家主义大一统，只有一个或半个搞不定。越往东，搞不定的东西越少，一元化程度越高。

ユーラシア大陸に広く生まれた中央集権専制主義は、強大な常備軍と官僚代理人システムを擁すると言うコアな特性、共通点がある。副次的な相違点は、常備軍と共存してる私兵や官僚代理人を擁すること。

これによって、集権専制主義は大きく分けて絶対主義・東方専制主義・官家主義の3つがある。絶対主義は4つ半、東方専制主義は3つ、官家主義大一統は1つ乃至は0.5が抑えられない点がある。東に行くほど制御不可は減り、一元化が高まる。

特性所谓搞不定，就是无法彻底解决问题。异己的暴力要素和观念要素依然存在，具备挑战垄断权力的潜能。

特性、いわゆる制御不可とは、問題を根本的に解決できないことである。異端的な暴力要素と観念の要素はいつも存在し、独占的権力に挑戦する潜在能力が備わっている。

##### 2, 绝对主义：四个半搞不定（絶対主義：4つ半の制御不可）

绝对主义位于欧亚大陆西端的欧洲境内，越往西越标准，如太阳王路易十四（1661-1715 执政）时代的法国。所谓绝对主义，只是相对封建主义的主权分裂状态而言。

絶対主義はユーラシア大陸の西側の欧州域内にあり、太陽の王ルイ 14 世時代（1661-1715 執政）のフランスのように西に行くほどスタンダードになってくる。絶対主義とは封建主義の主権

が分裂したままの状態に対していう状態である。

絶対主義有四个半搞不定絶対主義:4つ半の制御不可

第一, 外部列強。

その1:外部の列強

第二, 强大独立且组织严密的天主教会。教士还能出任官员。

その2; 司祭が役人を務められるような強力的、独立的かつ組織されたカトリック教会。

第三, 欧洲封建主义延续下来的残余武装贵族

その3:欧州の封建主義から続けられてきた残存武装貴族

第四, 自治城市

从事工商业的市民, 通过市民大会实行自治, 还有自己的武装力量, 其政治地位相当于领主。自治城市联合起来, 还能形成汉莎同盟之类的强大政经势力。

その4:自治都市

商工市民は市民大会を通じて自治を行い、自らも武装する、その政治的地位は領主に相当する。自治都市が聯合し、ハンザ同盟などのように強力的な政治経済勢力として成長する。

半个搞不定

可以看作教士和贵族特权地位的副产品, 他们往往垄断了当官的资格, 好比股东兼任经理, 不仅仅是代理人。如中国东汉和魏晋的门阀世族。

半分の制御不可

司祭と貴族の特権地位である副産物とみなされる。役人の資格を独占、あたかも株主がマネージャーを務め、単なる代理人と異なる。前漢や魏・晋時代の門閥貴族のような存在。

絶対主義体制下, 属于国内的三个搞不定, 教会, 贵族, 自治城市从事工商业的市民, 以等级会议的合法组织形式存在, 掌握政府的钱袋子, 即征税必须经过他们同意, 三者合法组织起来了, 力量加倍。

絶対主義体制下では、国内の3つの制御不可とする教会・貴族・自治都市の商工市民は、グレード別の合法的組織の形として存在し、政府の財布を掌握する。すなわち徴税は彼らの同意が必要とされ、3者は、合法的に組織されることにより、力が倍増する。

3, 东方专制主义:三大搞不定

3. 東方專制主義:3つの制御不可

东方专制主义是西方发明的概念, 主要指他们比较熟悉的奥斯曼帝国, 波斯, 莫卧儿帝国。有人把俄国和中国也归入此类。俄国确实有欧亚两重性, 但算不算东方专制主义, 还要细看当时的年代。中国肯定不应该算。

东方专制主义(奥斯曼、波斯或莫卧儿), 有三大搞不定。

第一, 外部列强搞不定。例如奥斯曼帝国三面受敌。

第二, 武装贵族还在。例如莫卧儿有许多乡镇规模的贵族辖区, 村级更多, 所谓柴明达尔。奥斯曼帝国的骑士叫西帕希。

第三, 半独立且有组织的伊斯兰教团。莫卧儿还面对印度教和锡克教及其强大的武力和动员力。俄国则有东正教势力。

東方專制主義は西側の概念、主に彼らがよく知るオスマン帝国、ペルシア、ムガル帝国を指す。ロシアや中国を含める人もいる。ロシアは確かに欧州、アジアの両面があるが、東方專制主義と言えるかどうかは、その時代を精査する必要がある。中国は間違いなく該当しない。

東方專制主義の3つの制御不可

その1:外部の列強;オスマン帝国は三方からの敵の攻撃を受けていた。

その2: 武装貴族; ムガールは無数の村レベルの貴族支配地域があり、所謂 Zamindar 制、オスマン帝国の騎士は Sphaks と呼ぶ

その3: 半独立かつ組織されたムスリム教団; ムガールはヒンズー、シーク教とその強大な武力と動員力に対抗しなければならず、ロシアもロシア正教勢力が存在する。

#### 4, 官家主義: 一个或半个搞不定 (官家主義: 1つか1つ半の制御不可)

隋唐之前, 早期官家主义与东方专制主义有部分重合, 早期官家主义内部有贵族或门阀世族搞不定, 相当于半个搞不定。官家主义的成熟期只有外部列强方面的半个搞不定, 全盛时无一搞不定。

隋・唐代の前は、初期の官家主義と東方専制主義は一部重なる点がある。

初期の官化主義内部には貴族或いは門閥貴族があり、コントロール不可、半分制御不可の状態であるが、官家主義の成熟期は外部列強だけの半分がコントロール不可で、全盛期の官家主義はコントロール不可の点は見当たらなくなる。

宋代外部半搞定, 签订条约, 兄弟相称。宋代之后, 周围列强基本搞定, 纳入朝贡体系。文官治国, 无武装贵族。无独立教会。无自治城市。

宋の時代は外部の半分が制御可能で、条約を締結し姉妹関係とした。それ以降、周囲の列強は基本的に定まり、朝貢制、文官統治で、武装貴族も独立した教会も自治都市もない。

当然, 这些要素并没有彻底消失, 只是内化到官家主义体系之中, 构成了潜规则, 土政策和部门法规, 以小集团利益和代理人利益的方式表现出来。

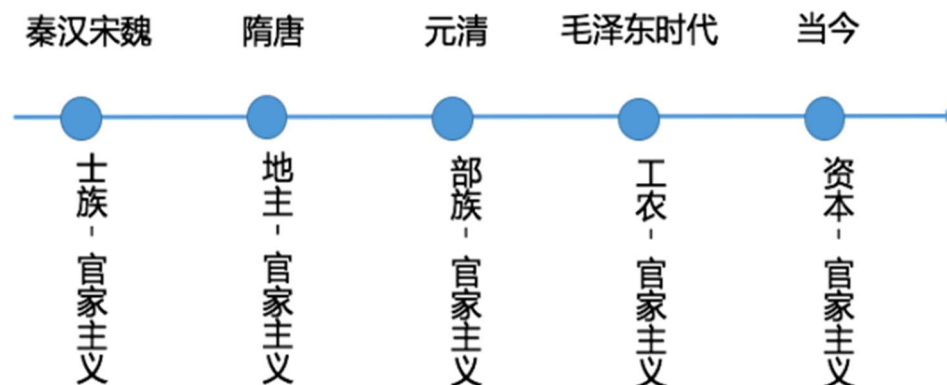
もちろん、これら要素は完全に消滅したわけではなく、官家主義体系内部に吸収され、暗黙的ルールとなる。ローカル政策と部門の法規などは、利益集団や代理人利益の方式として表わされる。

### 四、官家主义演变史: 当代中国社会的性质

#### 官家主義の変遷：現在の中国社会の特性

##### 1, 从世族到资本: 资本-官家主义

世襲から資本へ: 資本-官家主義



两汉魏晋: 世族-官家主义

唐宋明清: 地主-官家主义



插曲:元代的官家-部族主义, 或清代的部族-官家主义  
当代中国:毛泽东时代工农-官家主义, 现在的资本-官家主义  
漢・魏・晋:世襲-官家主義  
唐・宋: 地主-官家主義  
特殊期:元代の官家主義-部族主義、清朝の部族-官家主義  
現代中国:毛沢東時代の工農-官家主義、現在の資本-官家主義

## 2, 分析其他命名 (その他のネーミングの分析)

- (1) 市场列宁主义=市场经济+党的领导=资本官家主义
  - (1) 市場レーニン主義=市場経済+党の指導=資本官家主義
- (2) 权贵资本主义?
  - 到底是资本主义, 还是权贵主义? 资本-权贵主义=资本-官家主义
  - (2) 権力者資本主義?
    - 資本主義なのか権力者主義か? 資本-権力者主義=資本-官家主義
- (3) 国家资本主义?(国家資本主義?)
  - 国家资本主义=资本与国家权力的结合。中国定义强调国家权力主导, 利用资本。西方定义强调资本利用国家权力。
  - 到底谁是主导者? 资本还是国家? 如果是国家, 国家又是谁? 官家。
  - 国家资本主义=资本官家主义
  - 国家資本主義=資本と国家の権力が結合。中国の定義は国家権力が主導して資本を利用すると強調する。西側の定義は資本が国家権力を利用すると強調する。
  - 国家資本主義=資本官家主義

总之, 官家主义一直在变形, 打天下坐江山的暴力集团的统治方式一直在变形以适应环境, 却没有转型, 以暴力要素为核心的王权尚未向人民主权转型。

総じて官家主義は常に形を変え、天下を治める暴力集団の統治方式は環境に応じて形を変えるが、暴力要素を核心に据える王権が人民主権に変革することはない。

## 五, 模型推演:官家主义的当代危机

### モデルの進化:現代における官家主義の危機

#### 1, 官变比较(官のクーデター)

- (1) 官家第一主体:最高权力的产生和传承问题  
官家第一主体:最高権力の誕生と伝承の問題

第一, 皇帝之后, 名义上的最高权力是人大和党的代表大会, 实际则是指定接班人。

その1、皇帝制の後、名義上の最高権力は全国人民代表大会と共産党大会だが、実際には後継者を指名する。

第二, 最近一届, 最高权力传承规则不明, 有争、有险。解决这个问题的人将获得重要历史地位。

その2、直近のセッションでは、最高権力の継承に関する規則は不明確なため、物議を醸し、

リスクを孕んでいる。この問題を解決できる人は、重要な歴史的地位を得ることになる。

第三、個人和组织的趋利避害的最佳选择，在逻辑上是选总统。苏联、东欧和台湾的经验皆然。如此，官家主义将逐步转型。

その3、個人や組織が長所を求め、短所を回避することは最良の選択であり、論理的に大統領を選出すること。ソ連、東欧、台湾の経験はみなそうしている。このように官家主義は、徐々に変革していく。

## (2) 官家第二主体: 新增机构及其权力 (官家第二主体: 新たに設けた機構及びその権力)

第一，帝制时代，有藩镇割据和系统反叛。毛泽东时代，也有所谓条条专政和独立王国。その1、帝政時代は、藩鎮の割拠と組織的な反乱があった。毛沢東時代にも、いわゆる縦割専制や独立王国もあった。

第二，历史上的条条块块都在，又增加了党代表大会和中央委员会，还有全国人大和最高法院。按照党章，党代会是最高权力机关。按照宪法，全国人大是最高权力机关，尽管被人讥为橡皮图章。

その2、歴史的なタテ、ヨコの分割はあり、そこに党大会と中央委員会、そして全国人民代表大会と最高裁判所が加わった。党の規約では党大会が最高権利機関だが、憲法に照らせばゴムスタンプと言われる全人大が最高権力機関である。

但是，在危机时刻，在最高领导层分裂，橡皮图章可能成为钢印，造成彼此制约之势，最终降低转型成本。

苏联东欧就出现过这种情况。在中国，1989年也出现过类似情况。

出现的条件是：收益 > 风险。

しかし、危機に直面した際にトップの権力階層に分断が生じ、ゴムのスタンプが鋼のスタンプになり、相互に牽制し、最終的には変革のコストを低減させる可能性がある。

このような状況は、ソ連や東欧でも起こり、中国でも1989年に同様な状況が生まれた。

この状況が起きる条件は、得られる益がリスクより大きい場合。

## (3) 官家第三主体: 官员的私人利益和价值观 (官家第三主体: 役人の私的利益と価値観)

第一，官员的价值观矛盾。在转型关头表现为“竟无一人是男儿”。儒家价值观支持君主的开明专制，但社会主义核心价值观与强化党的领导有自相矛盾之处。

その1. 役人の価値観矛盾。変革のポイントは「最後は誰もいなくなった」と表現される。

儒教の価値観は、君主による開明的な専制を支持するが、社会主義の核心的価値観は共産党のリーダーシップ強化とは矛盾する。

第二，各级权贵小集团。例如西山会那样的俱乐部组织，本来可以内部权钱交易，讨价还价。在高强度的反腐败运动的条件下，对宪政的偏好高于对中国模式偏好。

如果不反腐败，权贵与资本的结合越来越彻底，如同英国那样，贵族都资本化了，资本和权贵融为一体了，或许光荣革命的条件就成熟了。

その2. 各層の権力グループ。たとえば、西山会のような倶楽部組織は、内部の権力と金銭の取引や切った張ったの値きりのディールできるが、しっかりした反腐敗キャンペーンの下では、憲政志向が中国モデル志向を上回る。反腐敗がなければ、権力と資本はますます癒着し、例えばイギリスのように貴族は資本化し、資本と権力はひとつに融合するが、栄えある革命的な条件は熟していると言えるかも知れない。

总之，官员的私人利益，小集团利益，转而支持权力制约机制。同时，这也符合宪法，符合党章，符合社会主义核心价值观。

要するに、役人の私的利益、小集団の利益は権力を抑えるメカニズムを支持するようになる。同時に、これは憲法、共産党規約にも合致し、社会主義の核心的価値観にも合致する。

#### (4) 小结(まとめ)

三大主体の共同点は、官家主義の安定性下降、官変率提高:背离官家主義常规的收益很高, 维持下去的成本很高。

3つの主体の共通点は、官家主義の安定性が低下し官のクーデターの可能性が高まっているいることを意味する。官家主義の慣習から離反するメリットはあるが、それを維持するコストはとても大きい。

## 2, 民变比较(民のクーデター)

### (1) 士:与体制冲突多(知識人:政権との衝突が多い)

官方对知识分子采取收买和压制策略, 但根本矛盾难以解决。媒体人赖以安身立命的宪法承诺的言论自由和出版自由, 法律人赖以安身立命的法治、公正和平等, 在遭到压制之后, 冲突是难以避免的。

官は知識人に対し飴と鞭の戦略を採用するが、根本的な矛盾を解決することは難しい。メディアは憲法と保障された言論の自由と出版の自由に、法律家は法による支配や公正、平和等に身を委ねるが、抑圧されるとその衝突は避けられない。

### (2) 农:支持官方政策, 与体制冲突少

(農民:官の政策を支持し、政権との衝突は少ない)

2004 年取消农业税之后, 农民税费负担大幅度减轻, 同时还获得了种田补贴。农民有权选举本村村委主任。后来大搞扶贫活动。

总之, 农民对中央政府的政策相当满意。

2004 年に農業税が廃止された後、農民の税負担は大幅に軽減された。また農業補助金も得ることができた。農民は地元村民委员会主任を選出する権利を有する。その後大規模な貧困援助キャンペーンが実施された。総じて中央政府の政策に非常に満足している。

### (3) 工:政治立场不确定(生産労働者:政治的立場がはっきりしない)

劳动力市场基本开放, 主体是 2.8 亿农民工。工资仍在上涨, 因此满意。

但是社会保障和福利不如城市居民, 更不如公务员, 还没有罢工和自己成立工会等权利, 因此不满意。

如果经济下行, 失业增加, 这批人不会也不肯回乡种地, 城市又住不下来, 房价太高, 租金太贵, 就有可能发生危机。

労働市場は基本的にオープンであり、主体は 2 億 8000 万人の出稼ぎ労働者。賃金は上昇しており満たされている。

但し、社会保障や福利厚生は都市市民のレベルに及ばないし、公務員ともっと差がある。ストライキや自らの労働組合などを設立する権利もない点は不満である。

経済が落ち込み失業率が上昇しても、故郷に戻って土地を耕すこともできないし街での生活も続けられない。不動産も家賃も高く、リスクを孕んでいる。

- (4) 商:対資本-官家主義体制的态度具有两重性  
(ビジネス業界:官家主義体制に対する態度は二重性)

#### 第一, 受益, 发展

民間資本的重要性从来没有像现在这么强大。刘鹤说五六七八九:对中国税收的贡献超过 50%, 对 GDP 的贡献超过 60, 创新的贡献 70, 城镇就业的贡献 80, 企业数量超过 90。

##### その1. 利益、発展

民間資本の重要性は従来になく大きい。劉鶴副総理は 5-6-7-8-9 と表現しています。すなわち、税収への貢献度が 50%超、GDP への貢献度が 60%超、イノベーションへの貢献度が 70%、都市部の就業に対する貢献度が 80%、企業の数が 90%超のシェア。

民間資本的権利也从来没有像现在这么多。借助 WTO 国际秩序, 可以移民, 可以转移资本, 至少可以不投资。

民間資本の権利もこれまでにないほど多い。WTO など国際秩序の助けを借りて、移民、資本の海外移転が可能となり、少なくとも投資しないことが可能になった。

官方对资本的威胁, 如果超过转移资本的成本+机会损失, 中国经济就会垮掉。

官の資本に対する脅威が資本移転のコスト+機会損失を超えると中国経済は崩壊する。在这个意义上, 中共对民企一再让步。2013 年 18 届三中全会的主要承诺是, 让市场在资源配置中起决定性作用, 2014 年十八届四中全会的主要承诺是依法治国。这些承诺主要就是对民营资本的让步。此后一再让步, 不提共产主义, 说民企是自己人等等。直到最近刘鹤重申政策不变。

この意味から中国共産党は再三民間企業に譲歩してきた。2013 年第 18 期3中全会の主なコミットメントは資源の配分において市場が決定的な役割を果たすようにすること。

2014 年の第 18 期 4 中全会の主なコミットメントは、法に基づいて国を統治すること。

これらのコミットメントは主に民間資本への譲歩。それ以降、共産主義を言及せずに、民間企業は身内だと言って譲歩を繰り返してきた。最近まで、劉鶴は政策方針は変わらないと繰り返し発言している。

#### 第二, 受到威胁, 担忧。

反复打压, 划出政治红线。鼓励三次分配。民企建党委, 强化对异己政治经济集团的控制。

此外还有腐败、无政治权力等一系列担心。

##### その 2. 脅威、懸念

抑圧が繰り返され、政治的にレッドラインが引かれた。三次分配の奨励策、民間企業における党委員会の設置、反体制派の政治経済グループに対する統制強化。

そのほかに腐敗や政治的権利の欠如などについて一連の懸念。

第三, 整体状态, 民企投资增长率一降再降。于是, 让步一让再让, 还在拉锯之中。

その 3. 全体として、民間企業の投資の伸びは低下が続いており、譲歩を重ねても、一進一退の状態が続く。

#### (5) 小结(まとめ)

人文社科知识分子和民营企业强烈希望中国走向法治社会。工人中立，农民高度支持中央政府。但他们都不支持暴力革命。

人文社会科学の知識人と民营企业家は、中国が法治社会に向かって行くことを強く願っている。生産労働者は中立であり、農民は中央政府を高く買っている。しかし、いずれも暴力的な革命を支持していない。

但是，如果经济下行，通货膨胀，财政危机，工人和城市中产阶级就可能造成动荡。民变的最大变化，就是好欺负的农民，变成了不好欺负的资本和人才。农民和农业是官家主义的稳固基础，稳定。

しかし、景気の悪化、インフレ、財政危機などは、労働者と都市部の中産階級は混乱を引き起こす可能性がある。民のクーデターに変化する最大の要因は、いじめられやすい農民がいじめられにくい資本または人材になること。農民と農業は官家主義の安定基盤。商人，資本，知識，包括游牧群，逃亡方便，隱蔽容易，不支持强制命令体制，适应这种性质的是契约交易关系。这是最根本的变化，也是工业化现代化的主要成果。由此造成官家主义根基不稳。

ビジネスマン、資本、知識人、遊牧民は、逃げやすく、隠れやすく、強制的な命令体制に支持せず、契約上の取引関係に適応している。これは最も根本的な変化であり、工業化と近代化の主な成果でもある。その結果、官家主義の基盤に不安定が生じる。

### 3, 外变比较(外部からの侵略の比較)

(1) 过去，即使中国被游牧民族征服，官家主义体制依然稳定，因为这个体制适应农业社会，是比较有效的政治和意识形态体制。

かつて、中国が遊牧民に征服されても官家主義体制は農業社会に適応し、比較的効果のある政治的・イデオロギー的の制度であったため安定を維持していた。

(2) 现在，国际流行的契约体系是工商社会的基本规则体系，政治经济和国际关系的基础都是契约关系。而官家主义还是从上到下的命令体系，代理人体系。

現在、世界に広がる契約システムは、商工社会の基本的なルールであり、政治経済学や国際関係の基盤も契約関係である。しかし、官家主義は依然として上から下への命令体系、代理人体系のままである。

(3) 在现代化和全球化的进程中，中国的官家主义体制且战且退，正在与现代的政体逐步接轨。越来越多地采用现代西方流行的观念和规则体系，并因此获得巨大利益。反过来，对抗，抵制，成本越来越高。现在，随着中国各种生产要素价格的提升，产业的升级，相对美国而言，各种要素价格的优势基本消失，政治体制问题越来越成为拖后腿的突出因素。不利于竞争的高成本因素。

总之，国际上的趋利避害格局正在诱导中国转型。这是长期存在的，无所不在的压力

和诱导, 已经深入中国内部, 在改革开放中扎下根来, 获得了资本、知识精英和政治精英的普遍支持。

近代化とグローバル化が進む中、中国の官家主義体制は戦いつつ後退し、近代的な政治制度と徐々に統合されつつある。現代西側の共通の理念やルール体系をどんどん取り込み、巨大な利益を得ている。

しかし、その一方で対立、抵抗、コストはますます高くなっている。現在、中国のさまざまな生産要素の価格が上昇し、産業の高度化に伴い、アメリカとの比較において、生産要素の価格優位はほぼ失われ、政治体制の問題がますます足を引っ張り、競争に不利な高コストの要因になりつつある。

要するに、国際的に利を求め、害を回避する局面が中国を変革に誘導している。

これは長年にわたり、至るところに圧力と誘因が存在、すでに中国の深層部まで浸透し、改革開放の中に根ざし、資本、インテリエリート、政治エリート層がひろく支持している。

- (4) 官家主義政体转型, 是历史常规。但是, 按照亨廷顿的说法, 官僚帝国转型慢。下一步, 中国这个最成熟的官家主义政体如何转型, 或者找到新的适应办法, 以变形代替转型, 努力维持下去, 这是正在上演的历史大戏的悬念。

官家主義体制の変革は、歴史的な流れだが、ハンティントンによれば、官僚帝国の変革は遅い。最も成熟した官家主義政体の中国は、今後どのように変革していくのか、または新しい適応方法を見つけて変革をリフォームに置き換え体制を維持しようとするのか、これはまさに上演中の歴史スペクタクルサスペンスを観るようでもある。

#### 4, 总结(まとめ)

官家集团内部的稳定性下降了, 长期均衡和短期均衡都出了问题, 官变的概率提高了。

官家集团内部の安定度が低下し、長期的バランスと短期バランスいずれも問題が生じ、官による反乱の確率が高まっている。

民间力量崛起了, 尤其是资本和知识分子崛起了, 害怕权力的蛮横, 要求把权力关在笼子里, 并且获得了世界潮流和流行价值观的支持, 长期稳定的官民关系已经失衡。

因此, 民间改革的压力增大了, 民间推动转型的力度提高了。

民間の勢力、特に資本と知識人が台頭している。権力の横行を恐れ、権力を檻の中に押し込むことを求めつつ、世界の潮流や共通の価値観から支持を得ている。長期にわたって安定していた官民の関係はすでにバランスを崩している。

民間の改革の圧力が高まり、民間が推す変換の力が強まっている。

外部秩序变了, 而且文明程度高于官家主义, 官家主义面对的外部威胁也加大了。

国外の秩序が変化し、文明のレベルは官家主義よりも高くなり、官家主義が対面する外部の脅威も増している。

总之, 官家主义体制的稳定性大不如前。但是, 凭借枪杆子和笔杆子, 官家集团依然有实力维持自己的体制, 可是又无法给出国内外各界认同的意识形态愿景。中国的自我重构仍处于自我挣扎、自我纠结的状态。我们是谁, 短期内仍是悬念。

要するに、官家主義体制の安定度は以前よりはるかに低下している。但し、官家集団は自らの体制を維持するための銃やペンの力を持っている。しかし、国内外が賛同するイデオロギー的な

ビジョンを与えることはできていない。

中国自らの再構築は、依然としてもがき、悩んでいる状態にある。

我々な誰なのか、当面は不安な状態が続く。

---

以上